



# 農都交流プロジェクト 日本生命の鮭川村

## 都市と農山村との新たな関係づくり

山形県鮭川村は、県の北部に位置し村名の由来でもある鮭川が貫流する自然豊かな村である。村では、人口減少、少子高齢化など他の地域と同様の課題に直面しており村活性化の取り組みとして農都交流を実践している。

今回、鮭川との連携がスタートしたのは生命保険大手の日本生命。「ニッセイ鮭川の森」でのCSR活動の実績もあつたことから農都交流の取り組みにつながった。

どのような交流にしていくかなどのプログラム作成に約1年間をかけ、ニッセイ鮭川の森での植樹活動を核とした、1泊2日による交流が実現することとなった。

今回のプログラムでは、植樹活動のほか、鮭川村特産であるキノコ収穫体験、農作物収穫作業、地域おこし活動を行っている村内の米集落の方々と交流会で盛り上がった。

鮭川村では、今回の農都交流をきっかけとして、日本生命関係者の村への来訪を促し、村の良さを

を知ってもらうことでリピーター化を促進。さらに人を呼び込むことができればと考えている。

2日目に合流した山形支社の参加者からも「鮭川村がこんなにいいところだったと初めて知った」という嬉しい感想も聞かれた。そんな魅力あふれる鮭川村にぜひ立ち寄ってみませんか。



# 農都交流スケジュール

1日目 日本生命保険東京本部より約20名参加（平成27年10月16日）



「みやまの里 木の根坂」で入村式  
(廃校利用の宿泊型施設・そば屋営業)



鮭川村特産品「きのこ」収穫



地元の方々との交流会(米集落)

2日目 日本生命保険山形支社より約40名合流（平成27年10月17日）



ニッセイ鮭川の森で植樹活動



「ねぎ」収穫作業



米湿原・米展望台散策

鮭川村農都交流のお問い合わせ 鮭川村産業振興課交流地域づくり係

TEL:0233-55-2111(内線256)

## 産直さけまるくん

鮭川村の特産品を扱っている産直施設。生産量東北一を誇る”きのこ王国”鮭川村産きのこ(なめこ、しいたけ、まいたけ、えのき、ぶなしめじ、エリンギ、やまぶしだけ)を中心に、野菜、米、漬物等の加工品に加え、食用ほおずきなど珍しい特産物も並ぶ。立ち寄ってみてね。



農都交流でもニッセイ社員で大繁盛

鮭川村観光協会イメージキャラクターの「さけまるくん」は鮭とイクラがモチーフになっている。鮭川の鮭への関心を高めてくれるキャラクター。

産直さけまるくんのお問い合わせ

鮭の子館農産物出荷組合

住 所 最上郡鮭川村大字川口 271-2

T E L 0233-55-4460

営業時間 9:30~18:30 (3月~11月)  
9:00~18:00 (12月~2月)

定休日 毎週火曜日

